

# 高校世界史プリント（過去問類似）

## 近世（結びつく世界） No.6

名前

得点

/11

**問1** 18世紀初頭に勃発したスペイン継承戦争の講和条約であり、敗北したフランスが相手国に対してハドソン湾地方、ニューファンドランド、アカディアなどの北米領土を割譲することや、スペインとフランスの王位合同禁止などを取り決めた条約は何か。 （2020年 全国公立入試 類似）

1. ユトレヒト条約                      2. ニスタット条約                      3. ブカレスト条約                      4. リスヴィク条約

**問2** 16世紀、プロテスタントの台頭に対抗してカトリック教会が自己改革を進めるなか、スペイン出身のイグナティウス＝ロヨラらによって創設され、アジアや南米への積極的な布教活動を展開した修道会は何か。 （2017年 全国公立入試 類似）

1. フランシスコ会                      2. ドミニコ会                      3. イエズス会                      4. ベネディクト会

**問3** 17世紀に明を滅ぼした満洲人の王朝は、中国本土の直轄地とは別に、モンゴルやチベットなどの周辺地域を「藩部」として間接的に統治した。この藩部に関する事務を管轄するために設置された中央官庁は何か。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. 都察院                      2. 軍機処                      3. 宣政院                      4. 理藩院

**問4** 明代には、実用的な自然科学や産業技術に関する研究が進んだ。この時代に、従来の薬物学の成果を系統的に分類・整理した『本草綱目』を著し、後世の医学や博物学の発展に多大な影響を与えた学者は誰か。 （2022年 全国公立入試 類似）

1. 徐光啓                      2. 董其昌                      3. 李時珍                      4. 宋応星

**問5** ハプスブルク家の啓蒙専制君主であるヨーゼフ2世が、国家の近代化と中央集権化を進める中で発布し、プロテスタントや正教徒、ユダヤ教徒などの信仰の自由を認め、カトリックの特権的地位を緩和した法令は何か。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. 宗教寛容令                      2. ミラノ勅令                      3. 国王至上法                      4. ナント勅令

**問6** 1618年に神聖ローマ帝国領内で発生したベーメンの反乱を契機に始まった国際紛争は、1648年に締結された講和条約によって終結した。この条約では、アウクスブルクの宗教和議で認められていたルター派に加え、新たにカルヴアン派の信仰も公認されることとなった。この講和条約の名称として正しいものを答えよ。 （2024年 全国公立入試 類似）

1. カトー・カンブレジ条約                      2. ウェストファリア条約                      3. リスウィック条約                      4. カルロヴィッツ条約

**問7** 15世紀の朝鮮王朝において、第4代国王によって制定された、母音と子音を組み合わせる表記する表音文字は何か。近代には独立協会の機関紙などでも広く用いられた。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. モンゴル                      2. ウイグル                      3. ハングル                      4. チベット

**問8** ロシアの近代化を推進した皇帝ピョートル1世が、北方戦争中にスウェーデンから獲得したバルト海沿岸の地に、西欧への窓口として建設した新たな首都はどこか。 （2014年 全国公立入試 類似）

1. ウラジオストク                      2. スターリングラード                      3. モスクワ                      4. サンクトペテルブルク

**問9** 15世紀後半、ポルトガル王ジョアン2世の支援を受け、アフリカ大陸南端の岬に到達してインド洋への航路を開く契機を作った航海者は誰か。 （2020年 全国公立入試 類似）

1. フェルディナンド＝マゼラン                      2. アメリゴ＝ヴェスプッチ                      3. クリストファー＝コロンブス                      4. バルトロメウ＝ディアス

**問10** 17世紀後半のフランスにおいて、王権神授説に基づき絶対王政の全盛期を築いたが、1685年にプロテスタントの信仰の自由を否定する政策を断行し、多くの商工業者の亡命を招いて国内経済に打撃を与えた国王は誰か。 （2014年 全国公立入試 類似）

1. フェリペ2世                      2. ルイ16世                      3. ルイ14世                      4. カール5世

**問11** 清の最盛期を築いた皇帝で、1757年にヨーロッパ船の来航を1港に限定する貿易制限措置をとったほか、ジュンガルや回部を平定して新疆を領土に組み入れるなど、清の最大版図を確立した人物は誰か。 （2018年 全国公立入試 類似）

1. 光緒帝                      2. 雍正帝                      3. 康熙帝                      4. 乾隆帝

## 答え合わせ・解説 No.6

問1	答え 1 ユトレヒト条約	スペイン継承戦争（1701～1713年）の講和条約であるユトレヒト条約（1713年）により、敗北したフランスはイギリスに対してハドソン湾地方、ニューファンドランド、アカディアを割譲した。この条約では、フランスとスペインの王位合同禁止や、イギリスへのジブラルタル・ミノルカ島の割譲、奴隷貿易専売権（アシエント）の付与なども定められ、イギリスの海洋帝国としての地位が確立される契機となった。
問2	答え 3 イエズス会	プロテスタントの宗教改革に対抗して、カトリック教会内部で自己改革や海外布教を目指す運動（対抗宗教改革）が起こった。その中心となったのが、1534年にイグナティウス＝ロヨラやフランシスコ＝ザビエルらによって結成され、1540年に教皇に公認された修道会である。この修道会は軍隊的な厳格な規律をもち、ヨーロッパ内でのカトリック勢力の回復だけでなく、大航海時代の進展に伴ってアジアやアメリカ大陸など世界各地への布教活動を精力的に行った。
問3	答え 4 理藩院	清朝は、漢民族が居住する中国本土（直轄地）に対しては明の制度を踏襲して六部などに統治させたが、モンゴル、青海、チベット、新疆などの「藩部」に対しては、独自の機関である理藩院を設置して間接統治を行った。理藩院の長官には主に満洲人やモンゴル人が起用された。
問4	答え 3 李時珍	『本草綱目』を著した李時珍は、明代を代表する医師・学者である。彼は各地を巡って薬草や処方情報を集め、それらを系統的に分類して本書を完成させた。同時代の学者としては、農政や暦法に貢献した徐光啓や、産業技術をまとめた宋応星などが知られている。
問5	答え 1 宗教寛容令	ヨーゼフ2世が1781年に発布した法令である。カトリックが国教であるハプスブルク帝国において、非カトリックのキリスト教徒やユダヤ教徒に対して信仰の自由や市民権の制限緩和を認めることで、帝国内の統合と産業の活性化を図った。
問6	答え 2 ウェストファリア条約	ベーメンの反乱から始まった三十年戦争は、1648年に締結されたウェストファリア条約によって終結した。この条約は「最初の国際条約」とも呼ばれ、神聖ローマ帝国内の諸侯にほぼ完全な主権を認めさせたほか、それまで公認されていなかったカルヴァン派が、ルター派と並んで帝国法上公認されることとなった。
問7	答え 3 ハングル	15世紀に朝鮮王朝の世宗によって制定された文字は「訓民正音」と呼ばれ、のちにハングルと称されるようになった。これは母音字と子音字を組み合わせる表音文字であり、日本の仮名文字（平安時代に成立）よりも後に作られた。近代には、清からの独立を目指す独立協会の機関紙『独立新聞』などでも使用された。
問8	答え 4 サンクトペテルブルク	ピョートル1世は、北方戦争によってバルト海の覇権をスウェーデンから奪い、領土を獲得した。このバルト海沿岸の地に、西欧化政策の拠点および新たな首都としてサンクトペテルブルクを建設し、モスクワから遷都した。
問9	答え 4 バルトロメウ＝ディアス	1488年、ポルトガル王の命を受けたバルトロメウ＝ディアスは、アフリカ南端の喜望峰に到達した。これにより、大西洋からインド洋へと抜けるルートが確認され、のちのヴァスコ＝ダ＝ガマによるインド航路開拓へとつながった。
問10	答え 3 ルイ14世	「太陽王」と称されたルイ14世は、国内の信仰統一を図るために1685年にナントの王令を廃止した。この政策により、プロテスタント（ユグノー）の商工業者が国外へ亡命し、フランス経済の衰退を招く一因となった。
問11	答え 4 乾隆帝	清の第6代皇帝である乾隆帝は、1757年にヨーロッパ船の来航を広州1港に制限した。また、積極的な外征を行って最大領土を現出し、その治世は清の最盛期となった。康熙帝や雍正帝も清の全盛期を支えた皇帝であるが、広州1港への制限を行ったのは乾隆帝である。

# 高校世界史プリント（過去問類似）

## 近世（結びつく世界） No.7

名前

得点

/11

問1 15世紀初頭、諸国に朝貢を促すために、イスラーム教徒の宦官が率いる大艦隊を南海方面へ派遣することを命じた、明の第3代皇帝は誰か。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. 洪武帝                      2. 万曆帝                      3. 崇禎帝                      4. 永楽帝

問2 16世紀末から17世紀初めにかけて、日本の公認商船が東南アジア各地と交易を行うなかで、その首都の郊外に大規模な日本人の居住地が形成され、のちに山田長政が重用されたタイの王朝は何か。 (2022年 全国公立入試 類似)

1. アユタヤ朝                      2. バンテン朝                      3. クメール朝                      4. マタラム朝

問3 17世紀後半のイギリスでは、専制的な傾向を強める国王チャールズ2世に対し、議会对抗措置を講じた。1679年、王権による不当な逮捕や投獄を防ぎ、被疑者の人権を守るためにイギリス議会在が制定した法律は何か。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. 権利の章典                      2. 人身保護法                      3. 権利の請願                      4. 権利の宣言

問4 16世紀初頭のネーデルラント出身の人文主義者で、著作などを通じてローマ・カトリック教会の聖職者の腐敗や墮落を痛烈に批判し、のちの宗教改革運動に大きな影響を与えた人物は誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. ペトラルカ                      2. エラスムス                      3. ボッカチオ                      4. フィチーノ

問5 15世紀半ばのドイツにおいて、金属活字を用いた印刷技術を改良・実用化した人物は誰か。この人物がもたらした技術は、のちにルターが開始した宗教改革において、思想が急速に拡散する技術的基盤となった。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. ボッティチェリ                      2. グーテンベルク                      3. ミケランジェロ                      4. シェークスピア

問6 16世紀初頭、オスマン帝国のスルタンであるセリム1世は、カイロを首都とし、シリアやエジプトを支配していた軍事政権を滅ぼしてその領土を併合した。この滅ぼされた王朝は何か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. アイユーブ朝                      2. ファーティマ朝                      3. サファヴィー朝                      4. マムルーク朝

問7 1618年に始まった三十年戦争の講和条約であり、神聖ローマ帝国の解体を決定づけるとともに、オランダ（ネーデルラント連邦共和国）やスイスの独立が国際的に承認される契機となった、1648年に締結された条約は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. ウェストファリア条約                      2. カルロヴィッツ条約                      3. ユトレヒト条約                      4. ピレネー条約

問8 17世紀前半に神聖ローマ帝国を舞台に勃発したキリスト教の新旧両派による対立は、フランスやスウェーデンなどの介入を招き、ヨーロッパ規模の大規模な国際戦争へと発展した。1648年の講和条約によって終結し、神聖ローマ帝国の事実上の解体をもたらしたこの戦争は何か。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. 七年戦争                      2. 三十年戦争                      3. 八十年戦争                      4. 北方戦争

問9 15世紀から16世紀初頭にかけてメキシコ高原を支配し、独自の絵文字や太陽暦、神権政治を特徴とする国家が、テスココ湖の湖上に築いた都は何か。この都市は、後にスペイン人の征服者によって破壊され、その遺構の上に現在のメキシコシティが建設された。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. テオティワカン                      2. テノチティトラン                      3. チチェンイツァ                      4. サクサイワマン

問10 17世紀前半、中国東北部で女真族が建てた国家は、明を支援する朝鮮に対して二度にわたる侵攻を行い、最終的に朝鮮を服属させて君臣の義を結ばせた。こののちに明の滅亡に乗じて中国全土を支配することになる、満洲族の王朝は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 宋                      2. 清                      3. 明                      4. 元

問11 18世紀半ば、清の乾隆帝はヨーロッパ諸国との貿易を統制するため、来航地をある1つの港に制限し、特権商人に貿易の独占権を与えた。のちにイギリスがマカートニーらを派遣して制限緩和を求めたものの拒絶された、この清代の制限貿易において唯一の公認港とされた都市はどこか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 杭州                      2. 明州                      3. 広州                      4. 泉州

## 答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 4 永楽帝	明の第3代皇帝である永楽帝は、積極的な対外策をとり、諸国に朝貢を促すために宦官の鄭和を南海遠征に派遣した。この遠征により、東南アジアやインド洋沿岸の国々との朝貢関係が樹立・強化され、遠征軍は東アフリカ沿岸にまで達した。洪武帝（太祖）の政策とは異なる積極的な対外進出の一環である。
問2	答え 1 アユタヤ朝	アユタヤ朝（アユタヤ王国）は、14世紀から18世紀にかけてタイに存在した王朝である。16世紀末から17世紀初めにかけての朱印船貿易の全盛期には、首都アユタヤの郊外に大規模な日本町が形成され、山田長政などの日本人が王室に仕えて活躍した。
問3	答え 2 人身保護法	チャールズ2世の専制政治に対抗するため、1679年にイギリス議会在が制定した。これにより、司法手続きを経ない恣意的な逮捕や投獄が禁止され、個人の身体的自由を保障する近代法の先駆となった。のちの権利の章典などととも、イギリス立憲政治の基礎をなす重要な法律である。
問4	答え 2 エラスムス	ネーデルラント出身の人文主義者エラスムスは、ギリシア語新約聖書の校訂や『愚神礼賛』の執筆を通じて、当時のカトリック教会の腐敗や形骸化した儀礼を批判した。彼の思想はルターらの宗教改革に強い影響を与え、「エラスムスが卵を産み、ルターがそれを孵した」と評される。
問5	答え 2 グーテンベルク	15世紀半ばにドイツのマインツ出身の人物によって活版印刷術が実用化された。この技術は、書籍の大量生産を可能にし、ルターによる聖書のドイツ語訳などの出版物が急速に普及する要因となった。これにより宗教改革の進展が大きく促された。
問6	答え 4 マムルーク朝	セリム1世率いるオスマン帝国は、1517年にカイロを征服してマムルーク朝を滅ぼした。これにより、オスマン帝国は東地中海から紅海に至る交易路を掌握し、聖地メッカ・メディナの保護権も獲得して、イスラーム世界における地位を決定的なものとした。
問7	答え 1 ウェストファリア条約	1648年に締結されたウェストファリア条約は、三十年戦争の講和条約である。この条約により、神聖ローマ帝国領内の諸侯にほぼ完全な主権が認められて帝国は事実上解体し、またスペインからの独立を宣言していたオランダや、スイスの独立が正式に承認された。
問8	答え 2 三十年戦争	ベーメン（ボヘミア）のプロテスタントの反乱を契機に始まった、神聖ローマ帝国内の新旧両派の対立は、周辺諸国の介入により国際的な戦争へと発展した。1648年のウェストファリア条約によって終結し、帝国内の諸侯に主権が認められたことで、神聖ローマ帝国は事実上解体された。
問9	答え 2 テノチティトラン	メキシコ高原のアステカ王国の首都として、14世紀にテスココ湖の湖上に建設された。高度な水利システムやチナンパと呼ばれる農法、巨大なピラミッド神殿を擁する大都市として繁栄したが、1521年にスペインの征服者コルテスによって征服・破壊され、その跡地にメキシコシティが築かれた。
問10	答え 2 清	17世紀前半、ヌルハチが建国した「後金」は、第2代ホンタイジの時代に国号を「清」と改めた。清は明との戦いを有利に進めるため、明を支援していた朝鮮に対して1627年（丁卯の役）と1636年（丙子の役）の二度にわたり侵攻した。朝鮮は敗北し、清を君主国、朝鮮を臣下とする宗属関係を結ぶことを余儀なくされた。
問11	答え 3 広州	清は1757年に欧州船の来航地を制限し、特権商人（公行）に貿易を独占させる体制を敷いた。イギリスは茶の輸入急増による銀の流出を防ぐため、マカートニーらを派遣して制限緩和や開港地の拡大を求めたが、清朝はこれを拒絶した。この体制下で唯一の公認貿易港として繁栄したのが広州である。

# 高校世界史プリント（過去問類似）

## 近世（結びつく世界） No.8

名前

得点

/10

**問1** 15世紀末以降、ヨーロッパ人がアメリカ大陸に到達した際、彼らが持ち込んだ病原体は、それまで免疫を持たなかった先住民の間で猛威を振るい、劇的な人口減少をもたらした。この時、先住民の社会に壊滅的な打撃を与えた代表的な感染症は何か。

(2025年 全国公立入試 類似)

1. 天然痘                      2. 猩紅熱                      3. 黄熱病                      4. 黒死病

**問2** 明代末期に、政治批判の拠点となった東林書院を再興し、のちに宦官らと激しく対立することになる政治グループの指導者となった人物は誰か。

(2023年 全国公立入試 類似)

1. 黄宗羲                      2. 王夫之                      3. 顧炎武                      4. 顧憲成

**問3** ムガル帝国において、ヒन्दウー教徒などの非ムスリムに対する人頭税（ジズヤ）を廃止し、ラージプート諸王国との同盟やヒन्दウー教徒の官僚登用など、諸宗教の融和政策を推進した第3代皇帝は誰か。

(2011年 全国公立入試 類似)

1. アクバル                      2. パール                      3. フマユーン                      4. アウラングゼーブ

**問4** 17世紀後半のフランスにおいて、ルイ14世が信仰の自由を認めていた王令を廃止したため、国外への亡命を余儀なくされ、その結果フランス経済に深刻な打撃を与えることとなった、カルヴァン派の信徒をフランスでは何と呼ぶか。

(2014年 全国公立入試 類似)

1. ユグノー                      2. ピューリタン                      3. ゴイセン                      4. ジェズイット

**問5** 16世紀後半のフランスでは、カトリックとプロテスタントの対立から激しい内戦が勃発した。この内戦を終結させるため、新たに即位したブルボン朝の初代国王が1598年に発布し、プロテスタントに対して個人の信仰や礼拝の自由を認めた勅令は何か。

(2004年 全国公立入試 類似)

1. アウクスブルクの和議                      2. ナントの勅令                      3. ヴォルムス勅令                      4. ミラノの勅令

**問6** 17世紀半ばから18世紀のロンドンなどで流行し、市民が安価な料金で入場して新聞や雑誌を読み、政治や経済、文学について議論や情報交換を行った、近代的な世論形成の場となった社交場を何というか。

(2006年 全国公立入試 類似)

1. カフェ                      2. サロン                      3. クラブ                      4. コーヒーハウス

**問7** 18世紀の大西洋をまたぐ交易において、西アフリカからの奴隷貿易に深く関わり、そこから得た莫大な富を背景に、のちに近隣の綿工業都市マンチェスターの輸出入港として産業革命期に急速な発展を遂げた、イギリス西部の代表的な港町はどこか。

(2011年 全国公立入試 類似)

1. バーミンガム                      2. マンチェスター                      3. ブリストル                      4. リヴァプール

**問8** 18世紀半ばにアラビア半島で興った復古主義的なイスラーム改革運動と結びつき、共同で第一次サウード王国を建国した、アラビア半島中部のディリーヤを拠点とする豪族は何か。

(2012年 全国公立入試 類似)

1. サウード家                      2. ラーシド家                      3. サバーハ家                      4. ハーシム家

**問9** 16世紀末から17世紀前半にかけて活躍したイタリアの物理学者・天文学者である。自作の望遠鏡を用いた天体観測によって木星の衛星などを発見し、コペルニクスが唱えた地動説を擁護した。しかし、この主張がカトリック教会の教義に反するとして宗教裁判にかけられ、自説の撤回を余儀なくされた。この人物は誰か。

(2021年 全国公立入試 類似)

1. ガリレオ・ガリレイ                      2. ヨハネス・ケプラー                      3. アイザック・ニュートン                      4. ルネ・デカルト

**問10** 17世紀後半、清の康熙帝がロシア（ロマノフ朝）との間で国境を画定するために締結した条約で、その満洲語の条約文において、清が自国を指す言葉として「中国」に相当する表現を用いたことで知られるものは何か。

(2023年 全国公立入試 類似)

1. アイグン条約                      2. キャプタ条約                      3. ネルチンスク条約                      4. イリ条約

## 答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 1 天然痘	ヨーロッパ人の到来に伴い、それまで隔離されていた南北アメリカ大陸に新たな病原体が流入した。特にこの感染症は極めて強い感染力と致死率を持ち、免疫のない先住民の間で大流行して人口激減の直接的な原因となった。なお、アフリカからの奴隷貿易による人口流出はアメリカ大陸先住民の人口減少の直接的要因ではない。
問2	答え 4 顧憲成	顧憲成は明末の官僚・学者であり、下野した後に故郷の無錫で東林書院を再興した。ここを拠点に、宦官の専横や政府の政策を批判する知識人・官僚が集まり、東林派と呼ばれる政治グループが形成された。
問3	答え 1 アクバル	ムガル帝国の第3代皇帝アクバルは、領土拡大を進める一方で、多数派であるヒन्दゥー教徒の支持を得るために融和政策をとった。その一環として、非ムスリムに課されていた人頭税（ジズヤ）を廃止し、ヒन्दゥー教徒の有力者であるラージプートの娘を妃に迎えるなどして帝国の基盤を固めた。
問4	答え 1 ユグノー	ルイ14世は1685年にナントの王令を廃止し、国内のカトリック化を強制した。これにより、信仰の自由を失ったカルヴァン派信徒（ユグノー）の多くが商工業者であったため、彼らがイギリスやプロイセンなど国外へ亡命したことは、フランスの産業や経済に深刻な打撃を与えることとなった。
問5	答え 2 ナントの勅令	16世紀後半のフランスでは、ユグノー戦争と呼ばれる凄惨な宗教戦争が展開された。ブルボン朝の初代国王として即位したアンリ4世は、自らカトリックに改宗して国内の多数派の支持を得る一方、1598年にこの勅令を發布してユグノー（新教徒）に大幅な信教の自由を認めた。これにより、約30年に及んだユグノー戦争は終結し、フランスにおける絶対王政の基礎が築かれた。
問6	答え 4 コーヒーハウス	17世紀半ばから18世紀のイギリス（特にロンドン）で流行したコーヒーハウスは、1ペニーの入場料でコーヒーを飲みながら、備え付けられた新聞や雑誌を読み、政治や文学について自由に議論を交わす場であった。これは市民社会における世論形成や、保険取引所（ロイズ）などの経済活動の発展に大きく寄与した。
問7	答え 4 リヴァプール	リヴァプールは、18世紀に奴隷貿易の拠点として急速に繁栄したイギリス西部の港町である。カリブ海やアメリカ大陸から輸入される砂糖やタバコ、綿花の荷揚げ港となり、背後のマンチェスターなどの綿工業地帯と結びつくことで、産業革命期に世界的な商業都市へと成長した。
問8	答え 1 サウード家	イブン=アブドゥル=ワッハーブが提唱したワッハーブ派の改革運動は、アラビア半島中部の豪族であるサウード家と結びついた。サウード家はワッハーブ派の教えを政治的・軍事的な指導理念として取り入れ、アラビア半島の大部分を支配する第一次サウード王国を建国した。これが現在のサウジアラビアの起源となった。
問9	答え 1 ガリレオ・ガリレイ	望遠鏡を用いた天体観測によって地動説（太陽中心説）を実証的に擁護したイタリアの学者はガリレオ・ガリレイである。彼は宗教裁判で異端とされ、地動説の撤回を求められた。なお、万有引力の法則を発見したのはイギリスのニュートンである。
問10	答え 3 ネルチンスク条約	1689年、康熙帝の時代の清はロシアとの間で国境を画定する条約を結んだ。この条約の満洲語テキストにおいて、清朝は自国を指す言葉として「中国（トゥリン・グルン）」に相当する表現を使用しており、従来の「中華と夷狄」という二元的な対外認識から、対等な主権国家としての「中国」という自意識への変化を示す事例として注目される。

# 高校世界史プリント（過去問類似）

## 近世（結びつく世界） No.9

名前

得点

/10

問1 13世紀に西アフリカのニジェール川流域に成立し、イスラーム教を受容して、都のトンプクトゥが交易や学術の中心地として繁栄した国は何か。（2009年 全国公立入試 類似）

1. ベニン王国                      2. マリ王国                      3. ソンガイ帝国                      4. ガーナ王国

問2 イングランドのステュアート朝初代国王ジェームズ1世が、議会を無視した専制政治を正当化するために主張した、王の権力は神から授けられた絶対的なものであるとする政治理論は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 王権神授説                      2. 自然法思想                      3. 人民主権説                      4. 社会契約説

問3 明代の中国では、長江下流域の蘇州などが綿織物業や製糸業などの商工業都市へと発展した。これに伴い、新たな穀倉地帯となった長江中流域の生産力の高まりを表現した言葉は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 蘇常熟すれば天下足る                      2. 江浙熟すれば天下足る                      3. 湖広熟すれば天下足る                      4. 蘇湖熟すれば天下足る

問4 17世紀初頭、アジアにおける香料貿易の独占を狙うオランダは、ジャワ島西部に東インド会社の本部を置き、東南アジアにおける植民地支配の拠点となる都市を建設した。現在のインドネシアの首都ジャカルタの旧称にあたる、この都市はどこか。（2022年 全国公立入試 類似）

1. マカッサル                      2. バタヴィア                      3. アンボイナ                      4. パレンバン

問5 17世紀末から18世紀初頭にかけてロシアを統治し、西欧化による近代化を強かに推進した皇帝は誰か。彼は貴族に対して伝統的なあごひげを剃ることを義務づけ、従わない者には税を課したほか、北方戦争の最中にバルト海沿岸に新首都を建設した。（2014年 全国公立入試 類似）

1. ピョートル1世                      2. エカチェリーナ2世                      3. ニコライ2世                      4. アレクサンドル1世

問6 15世紀末にアフリカ南端を経由するアジアへの直接の海上ルートが開拓された結果、それまでムスリム商人やイタリア諸都市が主導していた東方貿易の構造が激変した。この航路開拓を推進した国家の首都であり、アジアから直接もたらされる香辛料の取引拠点として急速に繁栄を極めた都市の名称として最も適当なものを答えよ。（2018年 全国公立入試 類似）

1. セビリア                      2. ベネチア                      3. ジェノバ                      4. リスボン

問7 16世紀前半、アペニン半島の支配権をめぐるハプスブルク家と激しく対立し、1519年の神聖ローマ皇帝選挙においても、スペイン王カルロス1世（のちの皇帝カール5世）の対立候補として立候補したフランス国王は誰か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. フランソワ1世                      2. スレイマン1世                      3. エリザベス1世                      4. フランソワ2世

問8 14世紀半ばにチャオプラヤ川下流域に成立したこの王朝は、隣国のアンコール朝を圧迫して衰退に追い込み、また朱印船貿易などを通じて日本とも深く交流した。18世紀にビルマ（ミャンマー）のコンバウン朝によって滅ぼされるまで、交易国家として繁栄した東南アジアの仏教王国は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. クディリ朝                      2. マタラム朝                      3. クメール朝                      4. アユタヤ朝

問9 1688年から1689年にかけての政変において、妻のメアリ2世とともにオランダから招かれ、共同統治者としてイギリス国王に即位した人物は誰か。（2016年 全国公立入試 類似）

1. チャールズ1世                      2. チャールズ2世                      3. ジェームズ2世                      4. ウィリアム3世

問10 16世紀後半のスペインにおいて、1580年にポルトガルで王統が途絶えたことを契機に同国の王位を兼ね、広大な海外植民地を合わせて「太陽の沈まぬ国」と呼ばれる大帝国を現出させた国王は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. カール5世                      2. フェリペ2世                      3. シャルル9世                      4. ヘンリ8世

## 答え合わせ・解説 No.9

問1	<b>答え 2</b> マリ王国	13世紀に成立したこの国は、豊富な金を背景とした交易で繁栄し、メッカ巡礼で知られるマンサ・ムーサの時代に全盛期を迎えた。都のトンブクトゥにはモスクや大学が建てられ、イスラム文化の中心地となった。
問2	<b>答え 1</b> 王権神授説	ジェームズ1世は、国王の権力は神から直接授けられたものであり、地上のいかなる権力（議会や法など）にも拘束されないとする理論を強く信奉した。この思想は、のちの清教徒（ピューリタン）革命へとつながる議会との対立の背景となった。
問3	<b>答え 3</b> 湖広熟すれば天下足る	宋代には長江下流域の農業生産力の高さを表す「蘇湖（江浙）熟すれば天下足る」という言葉があったが、明代中期以降、同地域で手工業や商工業が発達して商品作物の栽培が盛んになると、穀物生産の中心は長江中流域へと移行した。この長江中流域（現在の湖北省・湖南省付近）を指す「湖広」の生産力を示す言葉として「湖広熟すれば天下足る」が使われるようになった。
問4	<b>答え 2</b> バタヴィア	オランダは17世紀初頭に東インド会社を設立し、アジア貿易への本格的な進出を開始した。1619年、ジャワ島西部のジャカトラを占領してバタヴィアと改称し、ここに東インド会社の本部を建設した。バタヴィアは、香料貿易の独占や、イギリスなどの競合勢力を排除するための軍事・商業的拠点として機能し、のちのオランダ領東インドの首都となった。第二次世界大戦後にインドネシアが独立を宣言すると、名称はジャカルタに戻された。
問5	<b>答え 1</b> ピョートル1世	ロシアの近代化を推進したピョートル1世は、西欧化政策の一環として貴族に伝統的なあごひげを剃ることを命じ、従わない者にはひげ税を課した。また、北方戦争中にバルト海沿岸を獲得し、新首都サンクトペテルブルクを建設して遷都した。
問6	<b>答え 4</b> リスボン	15世紀末にヴァスコ・ダ・ガマがインド航路を開拓したことで、ポルトガルはアジアの香辛料貿易を直接掌握した。その結果、同国の首都であるリスボンは、従来の地中海貿易に代わる新たな大西洋・インド洋貿易の中心的拠点として急速に繁栄した。フィレンツェは毛織物工業や金融業で栄えたイタリアの都市であり、アドリアノーブル（エディルネ）はオスマン帝国の首都となった都市である。
問7	<b>答え 1</b> フランソワ1世	16世紀前半のヨーロッパでは、主権国家の形成を背景に、フランス王家とハプスブルク家の対立が激化した。フランス国王フランソワ1世は、イタリアの支配権をめぐるイタリア戦争でハプスブルク家と対立したほか、1519年の神聖ローマ皇帝選挙にも立候補してスペイン王カルロス1世（カール5世）と帝位を争ったが、敗れた。
問8	<b>答え 4</b> アユタヤ朝	14世紀半ばにタイのチャオプラヤ川流域に成立したアユタヤ朝は、カンボジアのアンコール朝を圧迫し、また日本との朱印船貿易やヨーロッパ諸国との交易で繁栄した仏教王国である。18世紀にビルマのコンバウン朝の侵攻によって滅亡した。他の選択肢として想定されるベトナムの統一（阮朝）は19世紀初頭、ポロブドゥール建立（シャイレンドラ朝）は8～9世紀の出来事である。
問9	<b>答え 4</b> ウィリアム3世	ジェームズ2世の専制政治に対し、議会はオランダ総督ウィレム3世とその妻メアリを招聘した。彼らはイギリスに上陸し、ジェームズ2世をフランスへ亡命させた後、共同王位に就いた。この政変は流血を伴わずに達成されたため、名誉革命と呼ばれる。
問10	<b>答え 2</b> フェリペ2世	1580年にポルトガル王家が断絶した際、母方がポルトガル王家出身であったスペイン国王が同国の王位を兼ねた。これにより、スペインとポルトガル双方の海外植民地が同一の君主のもとに統合され、領土に太陽が沈むことがないという意味で「太陽の沈まぬ国」と称される全盛期を迎えた。この国王がフェリペ2世である。

# 高校世界史プリント（過去問類似）

## 近世（結びつく世界） No.10

名前

得点

/10

**問1** 17世紀末から18世紀初頭のロシアでは、国家の近代化を目指して大規模な改革が推進された。スウェーデンとの北方戦争中にバルト海沿岸に新首都を建設して西欧化を進め、また東方では清の康熙帝との間で国境を画定する条約を締結したロシアの皇帝は誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. アレクサンドル1世      2. ピョートル1世      3. エカチェリーナ2世      4. ニコライ2世

**問2** 16世紀から17世紀のヨーロッパにおいて、宗教改革や三十年戦争を経て形成された、各国家が互いに独立した最高権力を持ち、明確な境界線で区切られた領域内での支配権を相互に認め合うことで成立した国際秩序を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 絶対主義体制      2. 領邦国家体制      3. 主権国家体制      4. 勢力均衡体制

**問3** 16世紀、新大陸に進出したスペインはエンコミエンダ制などを通じて植民地支配を広げたが、現地の人々に対する過酷な使役や虐待が問題視された。これに対し、ドミニコ会の修士として現地の実態を告発し、国王カルロス1世に先住民の保護と人道的な扱いを強く訴えた人物は誰か。 (2015年 全国公立入試 類似)

1. ルイス=フロイス      2. アダム=シャル      3. マテオ=リッチ      4. ラス=カサス

**問4** 18世紀半ばにビルマ（ミャンマー）を統一し、1767年には隣国タイのアユタヤ朝を滅ぼしたが、19世紀にイギリスとの戦争に敗れてインド帝国に併合された王朝は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. トゥングー朝      2. スコータイ朝      3. コンバウン朝      4. ランサーン朝

**問5** 清朝の全盛期を築いたある皇帝は、ジュンガルや回部を平定して中央アジアの広大な地域を「新しい土地」を意味する藩部として統治下に置き、これを「新疆」と名付けた。十全武功と称される軍事遠征を行い、清の領土を最大に広げたこの皇帝は誰か。 (2022年 全国公立入試 類似)

1. 乾隆帝      2. 順治帝      3. 康熙帝      4. 雍正帝

**問6** 1526年のパーニーパットの戦いでデリー=スルタン朝最後の王朝を破ったバーブルによって創始され、16世紀以降のインドを支配したイスラーム王朝を何というか。 (2015年 全国公立入試 類似)

1. ガズナ朝      2. ゴール朝      3. ムガル帝国      4. ロディー朝

**問7** 18世紀後半、清朝は積極的な外征を行い、オイラト系の遊牧勢力を討伐してタリム盆地一帯を支配下に収め、その地を『新疆』と名付けて最大領土を確立した。この外征を主導し、清の全盛期を築いた皇帝は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 康熙帝      2. 光緒帝      3. 雍正帝      4. 乾隆帝

**問8** 明の洪武帝が、民衆統治と財政基盤の安定のために整備した、110戸を単位として徴税や治安維持の責任を共同で負わせた村落行政制度を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 保甲制      2. 三長制      3. 郡県制      4. 里甲制

**問9** 1757年、イギリス東インド会社がフランスと現地のベンガル太守の連合軍を破り、インド東部における実質的な支配権を獲得して植民地支配の基礎を築いた戦いは何か。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. ワーディワーシュの戦い      2. ブクサールの戦い      3. セリಂಗパタムの戦い      4. ブラッシーの戦い

**問10** フランスの絶対王政期において、宰相リシュリユーを重用して王権の強化に努め、対外的にはハプスブルク家を打倒するために新教徒側を支援して三十年戦争への介入を決定した国王は誰か。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. ルイ16世      2. ルイ15世      3. ルイ13世      4. ルイ14世

## 答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 2 ピョートル1世	17世紀末に即位したロシア皇帝は、自ら西欧を視察して近代化の必要性を痛感し、内政・軍事の西欧化改革を断行した。スウェーデンとの北方戦争の最中には、バルト海への出口となる地に新首都ペテルブルクを建設した。また、東方進出に際しては、1689年に清の康熙帝との間でネルチンスク条約を締結し、外興安嶺（スタノヴォイ山脈）とアルグン川を境界とする国境を画定した。
問2	答え 3 主権国家体制	宗教改革や三十年戦争（1618～48年）とその講和条約であるウエストファリア条約を経て、ヨーロッパでは明確な国境で区切られた領域に対して排他的な統治権（主権）を持つ国家が対等な立場で並立する国際秩序が形成された。東アジアの朝貢・冊封体制のような階層的な秩序とは異なり、対等な主権国家間の関係を基礎とする。
問3	答え 4 ラス=カサス	スペインのドミニコ会修道士であるラス=カサスは、著書『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などを通じて、エンコミエンダ制のもとでの先住民（インディオ）に対する虐待を告発し、その保護を主張した。彼の訴えは、国王カルロス1世によるインディアス新法の制定など、スペイン王権が先住民保護の姿勢を示すきっかけとなった。
問4	答え 3 コンバウン朝	18世紀半ばにアラウンパヤーによって建国されたコンバウン朝（アラウンパヤー朝）は、1767年にタイのアユタヤ朝を滅ぼすなど強盛を誇った。しかし、19世紀に入ると領土拡張をめぐってイギリスとの間で3回にわたるイギリス・ビルマ（ミャンマー）戦争が勃発し、最終的に1886年にイギリス領インド帝国に併合された。
問5	答え 1 乾隆帝	清の第6代皇帝である乾隆帝は、ジュンガルや回部を平定して「新疆」と名付け、藩部として統治した。彼の治世に清の領土は最大となり、軍事的な成功は「十全武功」と称された。
問6	答え 3 ムガル帝国	ティムールの子孫であるバーブルは、1526年に北インドに侵入し、パーニーパットの戦いでロディー朝を破ってムガル帝国を建国した。その後、アクバルやアウラングゼーブらのもとでインドの大部分を統一する大帝国へと発展した。
問7	答え 4 乾隆帝	清の第6代皇帝である乾隆帝は、積極的な外征を行い、オイラト系のジュンガルを討伐・征服した。これによりタリム盆地一帯を「新疆」と名付け、理藩院が管轄する藩部とし、清の最大領土を確立した。なお、キャフタ条約は雍正帝期に締結されたものであり、総理事務衙門は同治帝期に設置されたものである。
問8	答え 4 里甲制	明の洪武帝は、元末の混乱で荒廃した農村を再建し、財政基盤を確立するため、110戸を1里とし、そのうち富裕な10戸を里長戸、残りの100戸を甲首戸として、徴税や治安維持を共同で担当させる里甲制を導入した。これにより、国家が直接農民を把握する体制が整えられた。
問9	答え 4 プラッシーの戦い	1757年、クライヴ率いるイギリス東インド会社軍は、フランスと結んだベンガル太守の連合軍を撃破した。この戦いにより、イギリスはインド東部のベンガル地方における実質的な支配権を獲得し、インドの植民地化を本格化させることとなった。
問10	答え 3 ルイ13世	ルイ13世の治世下において、宰相リシュリユーは王権の絶対化を進めるとともに、対外政策ではハプスブルク家を包囲・打倒するために、カトリック国でありながら新教徒側を支援して三十年戦争に介入した。